

社説

増税の難易

明年度の豫算は成る可く削減するも尚ほ二千四百餘萬圓の不足を生ず可しと云ふ増税は免る可らざるの數にして國民は又負擔に堪ふるの餘力あり二千萬や三千萬を増したればとて平氣なるは明白なるに然るに昨今此問題が聊か行儀の色あるは何ぞや内部に種々の事情もあらんかなれども結局その案の通過如何を氣遣ふが故ならんのみ凡そ金銀を徴収するには其人に信用なかる可らず論へば不評判なる借債が堂塔を修繕し學校を設立するが故に債を借進す可しと云ふも應ずるものなかる可し其然る所以は錢を借むが故に非ず又宗教の功德を知らざるが爲めにも非ず只錢の効用を空うせんことを恐るればなり政府が租税を徴するも亦斯の如し人民に於て百萬圓を出せば百萬圓だけの効能あり千萬圓を増せば千萬圓の便利を得べしと信すれば増税は苦もなく行はる可しと雖も一旦其信用を失へば苦情百出して容易に目的を達す可らず先年議會が軍艦製造費を否決したるは言外の意味もなきに非ざれども當時海軍省は不始末なりとの評判ありしに因るのみ今、現政府の信用如何と云ふに其性質は寧ろ正直なる方にして別に私を營みたることもなく又不義を犯したることもなきのみならず成る可く官吏の空取りを止めにして近く人民に於て租税に對するあらんとする其志に於ては大に嘉す可きものありと雖も仕事仕振りの何分にも不活潑にして一官吏を通過し一事件を始末するにも右に時左を顧みて容易に決せず其間に思ひ掛ける苦情を生じて遂に失敗に歸するは毎度の沙汰なり左れば世人が其前途如何を疑ふも無理ならぬ次第にして此際増税案を提出するも或は意外の反對に出遇ふやも知る可らず目下の處、政府の多數なるは疑もなき事實なれども其多數が敢て陳方する所以は別に深き細あるに非ず只當局者の爲す有るに足るを信するが故なれば其果して待むに足らざるを悟るに於ては自から方向を轉せざるを得ず況んや彼を取らるるは本亦人民の喜ぶ所に非ずして餘り願ふもしからぬ政府の爲めに選挙區民の歡心を失ふは議員の身として迷惑至極のものと云ふや左れば増税の爲めにも當局者に有るの責あるの實を示すを要すなれ而して其有るは畢竟高級の施設を大膽に決断するの圖にして必ずしも失策なきの意に非ず私法にも案の誤あり偶々必得するものとあるも其氣力にして能ならんには人は難しし政府として借債を爲す可し否な其失敗は却て不決断より生ずるとも多し其意の如きも或は決断したらんには今日

福澤全集の刊行 全集緒言の掲載

福澤全集は今度福澤先生の子孫の爲め又親友の爲めを圖りて今を去る三十八年前即ち萬延元年より明治二十六年に至るまでの間に著し執筆し著せられたる許多の書籍を蒐集刊行するものにして之を讀めば何人とも離れ不開國以來日本文明の源流を詳にするを得べし

未曾有の大著譯

福澤全集は無慮四五千頁に達する大冊なり其中に收めたる書類は前後合して五十部、冊數百七冊にして毎部發行の數は十萬乃至二十萬に達したるもの多けれども假に多寡平均して毎部七萬部とすれば部數にて三百五十萬部即ち七百四十九萬冊は日本人の目に觸れ西文移植の大効を遂げたるものにして古來未曾有の大著譯と云はざる可らず

福澤全集の緒言

全集刊行の企圖あると共に福澤先生は新に筆を染めて當初先生が著譯に従事したる頃の時事事情及び一部毎之を著譯したる所以の來歴を説明して卷首に附する書なり一篇通じて讀すれば新舊變遷の波瀾に立たる開國者の如何に大膽にして如何に効力ありしか固固固陋に慣れたる國人の如何に開國者を選して如何に其說に耳を傾けたるか將た又先生が文を行き語を擇ぶに如何なる注意を爲したるか次第を追ひて漸く明かに開國四十年來の奇絶快絶なる舞臺は忽ち驚きとして讀者の眼前に現はる可し

十二月二日より

即ち全集緒言は之を補けば全集一部の緒言にして之を併れば西文移植の活歴史なり新日本文明の最も重要な時代の圖にして最も趣味あるものなれば本社は全集刊行の前に當りて特に先生に請ひ來る十一月二日(一日は月曜休刊)の紙上より順次掲載して讀者の一覽に供せん

時事新報社

北京特報

十月十三日 杉 幾太郎

南洋鐵道と外債 過日來外債募集の運動中なるフリー氏は一方に戶部の輸入を削減するを承諾し他方には九十四と云ふ相當の利益を清國に許す代りとして上海南京杭州及び河南に達する鐵道の特權を得且つ河南石炭の採掘を其手中に收めんと務め居れるより當地外人一般の評判は兎角面白からずして何人も其成功を疑へる様子なり左れば露國の外交官はフリー氏の運動最烈の活潑なりしに似て其決着の日一日と遅延するを見て暗に其之を訝むるなり如き素直なきにあらざる云ふ我政府は角吾人の知らんと欲するは其成否如何と鐵道に關し英商に與ふる利益の割合にあり代表者フロッセル氏の書記アーノルド氏の公言する所に依れば吾々の欲する所は唯鐵道建設の權に止まらずして財政に關し或る一定の年間を限り其利權を英清に兩分せんとするにありて鐵道の建設のみにては到底利益を得所なしと斷言せり又通日當地に灌漑せし瑞興那威公使は右フロッセル氏と同國の對ありて外債事件の進展を論ずる人なるが同公使は或る人に向てフロッセル氏の論議に關する意見は英國より三名の支配人を出し清國より二名の支配人を出して之を監督すべき目録見なす又アーノルド氏の公言に據れば是等鐵道の資本は千六百萬圓の外債中より支出するにあらざして別

上海特報

十月二十日 或 軒 生

外債談判の状況 ダツジョン氏先づ失敗し香港上海銀行も亦失敗しフリー氏も後述する諸報も一として其の結果の好かるべきを推測せしむるに足らざるものとなくダツジョン氏の代表者が公然として總理衙門の代表者李鴻章との商議其都合善く取進べるを宣言せしむるありし千六百萬圓外債一條は今又不幸にして一頓挫を見るに至れり此のダツジョン氏の態度も失敗に歸せりとの風説は殆んど十日以前より傳へられしが他に此風説の誤を辨するものも現はれ一時其の眞偽を分つるも能はざりしも最早其の談判の進展を察するは等ふべからざる事實となりぬ若しダツジョン氏の代表者フロッセル氏に於て北京に李鴻章と商議し更に當地に來りて盛宣懷と打合せたる原條件を守らば其の失敗に終るべき善なりしならんは同氏は外債保證の點に就きて新なる條件を提出し尙ほダツジョン氏が契約履行の證據として十萬磅を清國政府に託しダツジョン氏に於て契約を履行せざる場合には清國政府に於て之を沒收するものと得べしとの條件に就きて多少の議論を唱へ出し兎角相談纏まり兼ね此外債談判は中止の姿となりしなりと云ふ此事の世に洩るゝや他に一國の資本家ありフリー氏もフロッセル氏の一旦取極めたる原條件の儘にて千六百萬磅の外債を引受くべきものと清國政府に申出でし由一國の資本家とは是れに成功に近き程まで商議を進めたる香港上海銀行なりと一般に信ぜらるるに依りて唯だ或る一部には英國の銀行及び其他諸國大體の資本家の一部が彼等は清國政府をして此外債の利子を保證せしめんことを希望する由を傳へり然るに先般上海に於てダツジョン氏の代表者フロッセル氏を助けて此商議に與かり同氏の爲めに原契約を破棄せるダツジョン氏は最後決定をなさん爲めフロッセル氏に從つて北京に赴きしに昨日又當地に着せり其の語る所によればダツジョン氏の談判は再び取進び居る由にて同氏

歐洲

は切りにダツジョン氏に對せり云ふなりと辨せり云ふなりと之を要するに清國政府の爲めに此の外債を借進するの議は鐵道建設の讓與の讓與に應ぜんとするはダツジョン氏が千六百萬磅の外債を引受くべきものと清國政府に申出でし由一國の資本家とは是れに成功に近き程まで商議を進めたる香港上海銀行なりと一般に信ぜらるるに依りて唯だ或る一部には英國の銀行及び其他諸國大體の資本家の一部が彼等は清國政府をして此外債の利子を保證せしめんことを希望する由を傳へり然るに先般上海に於てダツジョン氏の代表者フロッセル氏を助けて此商議に與かり同氏の爲めに原契約を破棄せるダツジョン氏は最後決定をなさん爲めフロッセル氏に從つて北京に赴きしに昨日又當地に着せり其の語る所によればダツジョン氏の談判は再び取進び居る由にて同氏